

第6回福智町カローリング大会 三世代で交流を深めたカローリング大会

町体育協会主催の「カローリング大会」が3月4日に金田体育館で開催されました。カローリングは氷上の「カーリング」を基にした屋内競技で、年齢を問わず楽しめるニュースポーツです。初開催以来、回を重ねるごとに人気を集め、地区予選には103チームが出場。決勝には36チームが進出しました。優勝：四区D(赤池)、準優勝：南木B(金田)、3位：四区B(赤池)



↑13歳先の的をめがけ、ローラー付きの円盤を投げる参加者。(決勝トーナメント)

↓DOYO組とHUE：が23曲を披露。「うれしいひなまつり」などで共演しました。



福智町音楽祭・童謡コンサート 韓共演の童謡特別コンサート

町出身の童謡作曲家河村光陽にちなんで毎年行われている「童謡コンサート」。今年は3月3日に同和対策研修センターで開催され、約150人の親子連れが懐かしい旋律に癒されました。ステージにはTVや海外などで活躍している「DOYO組」と韓国ユニット「HUE:」を招待。旧赤池町から続き、今年で25回目を迎えたコンサートを、美しい調べで包み込みました。

満開を願って世話人会が桜の周辺整備

「虎尾桜を心配する世話人会」主催による虎尾桜と源平桜の周辺整備が3月24日に行われ、会員6人が参加しました。桜周辺の雑木や雑草を除去して今年の開花をいち早く待ち望む会員は「今年も多くの人に雄大な桜の姿を見てもらいたい」と目を細めて古木をいたわっていました。今年の虎尾桜の見ごろは寒冬の影響で昨年に続き遅咲きで、4月7日ごろの予定です。



↑満開の虎尾桜との再会を楽しみに、カマやノコギリを持つ手に力を込める参加者。

↓3年後の収穫を目指して手入れする職員。生産や加工方法を研究していきます。



ふれあい塾でオリーブを試験栽培 地域の特産品へオリーブを試験栽培

町では、高齢化や後継者不足などで増えた耕作放棄地を活用しようと、オリーブの試験栽培を3月から開始しました。今回は、久留米の田主丸町などから取り寄せた140本の苗を、ふれあい塾の約1,500㎡の畑に2週間隔で植栽。オリーブは他の果樹と比べて手間がかかるとされ、後継者不足などで悩む農家の利益確保や特産品としての期待が高まっています。

↓頭にシリコンを注入した時の心境を話す舞の海さん。聴衆429人は食い入るように聞き入っていました。



第5回福智町住民福祉講座 舞の海さんが角界の裏話を披露

1月29日を「健康長寿の日」として制定している福智町。これを記念した福智町住民福祉講座が3月10日に同和対策研修センターで開催されました。午前中は「鶴瑛ちゃんの修羅場介護日記」と題して、講談家の田辺鶴瑛さんが自身の介護体験をネタに、介護の実態を笑いに包んで解説。午後からは相撲界で「技のデパート」として異名をとった、舞の海秀平さんが登壇しました。角界を揺るがした八百長問題や野球賭博などの裏話を披露した舞の海さん。ざっくばらんな語り口で聴衆の笑いを誘いました。

町内3中学校で卒業式 涙をこらえ声高らかに最後の校歌斉唱

町内の3中学校で3月15日、卒業式が行われ、9年間の義務教育を終えた卒業生265人(赤池中96人、金田中75人、方城中94人)が勉強や部活などに励んだ学びやを巣立ちました。校長先生から一人ひとりに卒業証書が手渡され、保護者や在校生から温かな拍手で送られた卒業生。中学最後の校歌斉唱を声高らかに歌い、それぞれの道へと歩み始めました。



↑保護者への感謝や在校生へのエールなどを込めた答辞を述べる卒業生。(赤池中)

↓一番の見どころ、世界的に高い評価を受けている奥村氏と大萩氏の夢の初共演。



2012福智町音楽祭クラシックコンサート まぶたの裏に広がった異国の情景

ヴァイオリンの奥村智洋さん、ギターの大萩康司さん、ピアノの永田郁代さんを招き、毎年好評の「福智町音楽祭」が2月26日に地域交流センターで開催されました。3人は、福岡県出身の大学生とも共演しながら、世界各国の名作12曲を披露。来場した280人は、目を閉じたり体でリズムを刻んだりしながら、プロが奏でる美しい音色に聞き入っていました。